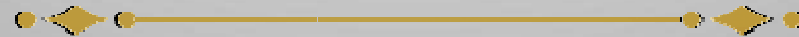


# 世界言語としての マンガ

京都精華大学・竹宮恵子



マンガは世界言語になり得るか？  
誰も教えないのにマンガはリテラシーを自然に育てる

# 勝手にグローバル

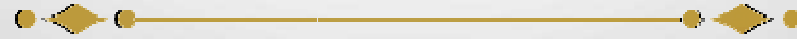


- ❖ MANGAという日本語が世界に通用する＝特殊性が高い
- ❖ 地域的&パーソナルなのに、言葉がわからなくても漠然と理解できる
- ❖ 2004年頃から海外でMANGAブーム→コアなファン→日本理解につながる↓

## ジャパニーズ スタディーズ

- ❖ 京都の祭に、留学生から着付けを教わり、浴衣で出かける日本の学生

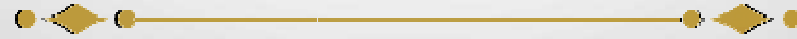
# 輸出には消極的だったのに？



- ❖ あまりにも特殊で、海外には目を向けてなかった
- ❖ 強くコマーシャルしたのではなく、自然に任せて興味を持たれた形
- ❖ 海外が「選び取った」とも言える
- ❖ 読者が「選び取る」形をとることは、実はマンガの中に隠された秘密兵器

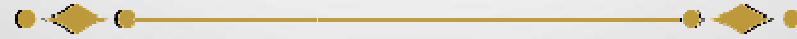
《マンガの極意とは》説明的でないのにちゃんと説明され、考えようとしてないのに考えさせられ、あくまで答えは読者が発見し、読者が必要とする結論に行き着く。

# マンガ・リテラシー



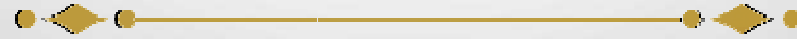
- ❖ 「見ること」は「理解しよう」とすること
- ❖ 図は解につながり、リテラシーが起動する
- ❖ 意味を紡ぐ前にリテラシーによって理解が起こる
- ❖ 知能が高ければ動物ですらもそれは可能
- ❖ 解が次の意味を求め、文章にならないイメージの中で行動(動詞)につながっていく

# 映画にも文学にもない



- ❖ ドラマがあるから読むのではない
- ❖ 誰もが同じ読みをしない → 読者の勝手
- ❖ マンガを読み解く楽しみは、個々の作品や評価とは関係がない
- ❖ **読み解くのは自分自身だから、自分の話であると  
さえ言える**
- ❖ そこに海外の読者も気付いた

# 海外の読者も描き始めた

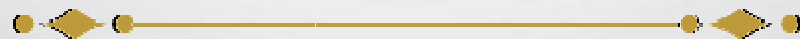


- ❖ 「ニューヨークの高校生、マンガを描く」

マイケル・ビッツ著

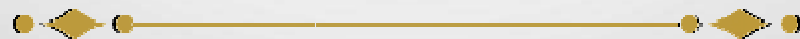
- ❖ たとえ同人誌でも、ストーリーはオリジナル
- ❖ つまり自分自身を写す作品
- ❖ 不特定多数の読者に、見知らぬ人に、マンガで自分自身のメッセージを届けたい
- ❖ Webのようにそれが出来るツール →マンガ

# 言葉のように描きたい



- ❖ マンガを表現手段として選ぶ人にとって、最も大事な点は、自然に流れるように読めるマンガ
- ❖ 日本のマンガの特徴であり、スタイルとしてだけでなく機能の面でもアドバンテージがあるポイント
- ❖ これは真似ることでは習得できない
- ❖ なぜなら言語＝日本語と密接な関係があるから

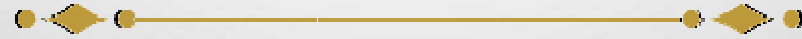
# コマの流れの問題



- ❖ 初期にはコマ・ノンブルがついていた
- ❖ 上から下にでも渦巻き状にでもノンブルがあれば読むことが可能
- ❖ 読み間違わないよう、矢印をつける場合もあった
- ❖ つまり描き手が工夫していた
- ❖ 編集者も読者のために注意を促した

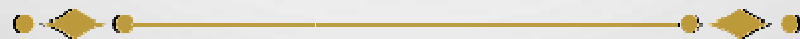


# オノマトペの問題



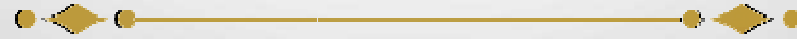
- ❖ 留学生の多くが悩むのは、オノマトペに種類と使用する局面とが多すぎること
- ❖ 覚えるだけでは対処に無理がある
- ❖ 《創作の範囲》であることを理解すれば、自由に自国語の領域で音や状態を表せる
- ❖ 文字でも、拼音でも発音記号を使ってもいい
- ❖ 自由だが理解してもらえることを前提に

# 吹き出しの問題



- ❖ 日本語は縦に書く時期が長かったのと、横書きだと右から左への流れが妨げられる
- ❖ 縦書きの方が五・七・五のリズムを活かしやすい
- ❖ コマ流れと視線誘導に一役買っている
- ❖ しっぽをつけない吹き出しが最近多くなっているが、これは読者のリテラシーが高いからこそ許されること

# 読みと書きが流れを作る



- ❖ 言語には読み書きがあり、マンガはそれを基調に構築される → **きわめて言語的**
- ❖ ということは、各国のマンガのリテラシーは各国語を基調に作られねばならない
- ❖ その研究を行う留学生たち
- ❖ テーマ:「母国語のようにマンガを描きたい」

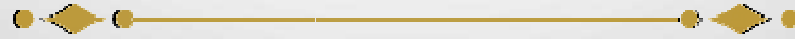


# リテラシーを作る動き



- ❖ 画面の反転→オノマトペの翻訳をしない→画面反転と綴じの変更をやめ、セリフだけを横書きに
- ❖ 縦長の日本語用吹き出しに横書きの英語、は適当でない →音韻・段落的にも不都合
- ❖ しかも読み方向と違う流れになって、読み手に負担をかける

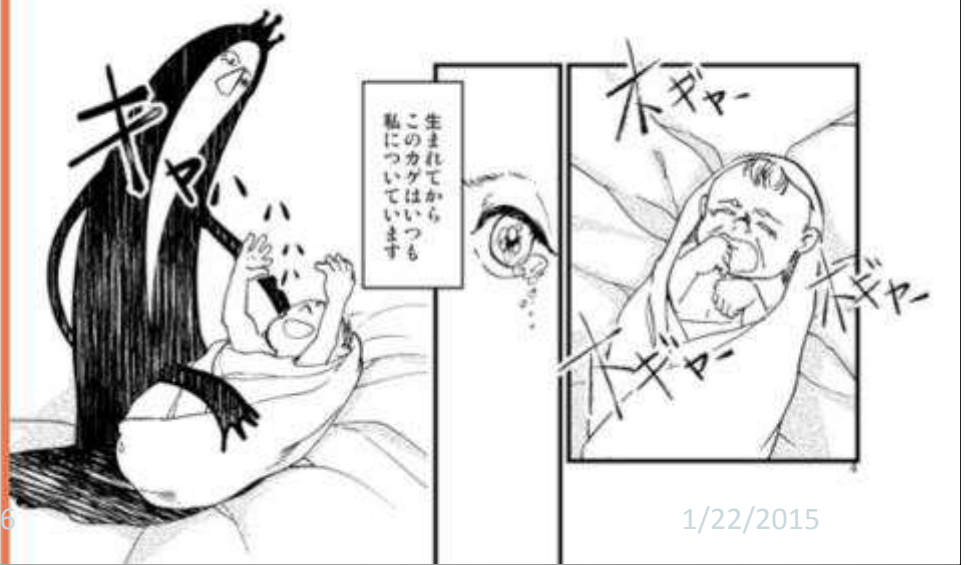
# 新たな挑戦



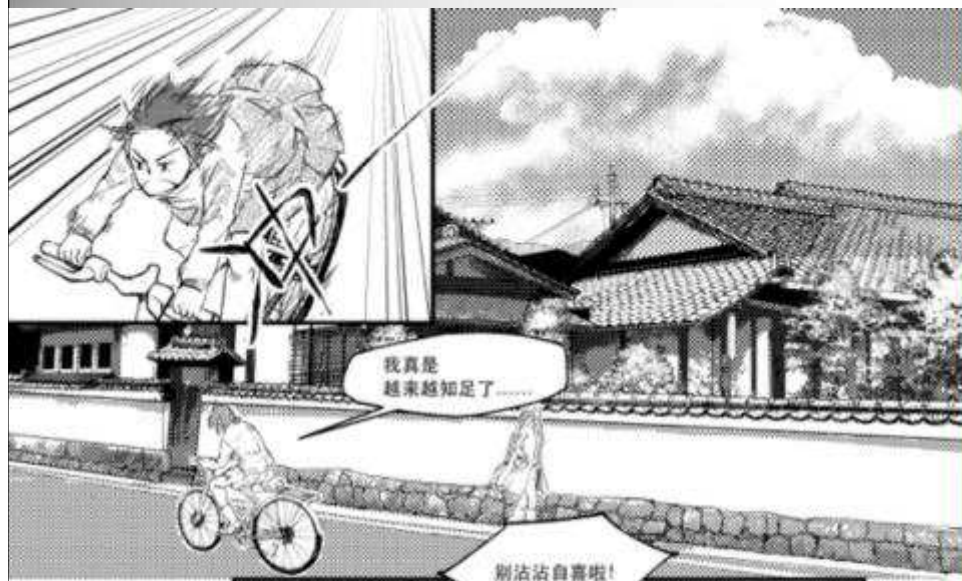
- ❖ 販売している翻訳マンガと違いミラー化ではない
- ❖ 言語に対して適切な読み順、吹き出し、オノマトペに対応する
- ❖ コマと絵の位置、吹き出しの位置も調整
- ❖ 絵の損失を抑え吹き出しの形をセリフに沿わせるようには出来るが、ストーリーや目線のリードにはまだ問題が残る

(以上は本人の弁)









我真是越来越知足了...



别沾沾自喜啦!



自我出生起这个影子就一直跟着我



最开始我以为有这样的影子是正常的

但别人都是普通的影子

我的影子却从来不听我的话

我尝试向别人解释但谁都不见我这奇特的影子



要是能摆脱这个从来都只造成我困扰的影子就好了...

# 出来ない相談ではない



- ❖ まず文章の書きの流れを確認→綴じかたを決定
- ❖ オノマトペの入れ方、人物の向き、コマの流れをその方向に沿わせる
- ❖ 吹き出しの位置、形を方向に沿わせる
- ❖ 吹き出し中の文字を音韻的・段落的に読みやすく調整
- ❖ ページの縦長、横長を選択

# マンガは言語に沿って



- ❖ 翻訳物は仕方がないが、表現としてマンガを選ぶなら、リテラシーも同時に育てるべきである
- ❖ マンガは野のもの、誰かに舞台を作ってもらわず、自らそれを行うべき
- ❖ 児童のために教育的なマンガを作り、自国の言語に沿ったマンガ・リテラシーを育てて欲しい
- ❖ 本気でやれば、たった3年間で読者のリテラシーは育つのだから

ご清聴ありがとうございました